# コンシェルジュ便り

2026.11月号

【お問い合わせ】子育て支援センターおひさま広場　☎0145-45-3555

朝晩の冷え込みが感じられるようになり、冬が来るのも間もなくです。お子さん達は毎日の生活や遊びの中で少しずつできることが増えたり、自分の思いを言葉や仕草で伝えようとしたり、1人ひとりのペースで成長しています。そんな日々の成長やお子さんとの今しかない時間をゆっくり楽しめるといいですね。

これから寒さが増し、感染症などにも気をつけたい時期です。十分な休息をとりながら無理をせず、親子で元気に過ごしましょう。初めての方も、いつも遊びに来てくれる方も、どうぞ気軽にお越しください。

## 11月の子育て講座　リサイクル交流会



秋・冬物の衣類を中心に帽子などの小物類も取り揃えています。また、100㎝以上の衣類もあり、サイズも豊富です♪

日時：令和8年11月11日(水)
9:30～12:00
13:30～15:00
場所：おひさま広場

※前日10日(火)は講座準備のため、15:00で閉所となります。





きらり開放日は11月13日(金)です。

## 嫌がる時はどうする？乳幼児の薬の飲ませ方



風邪をひいたり、感染症にかかったり…薬を飲む機会が増える季節ですね。小さなお子さんは薬の味やにおいが苦手だったり、口の中の感触などから薬を嫌がることもあります。でも、少しの工夫で飲みやすくなることもありますので、ぜひ参考にしてみてください。

【赤ちゃんへの飲ませ方】

・粉薬は薬によって少量の水で練ってペースト状にし、頬の内側につけてから、水や授乳で飲み込ませる方法があります。

・シロップ薬はスポイトや専用のシリンジを使い、頬の内側に少しずつ入れましょう。

【幼児への飲ませ方】

・粉薬が苦手な場合は薬によって少量の水や食品に混ぜることができます。ただ、食品によっては苦みが増すものもあるので事前に薬剤師に確認すると安心です。

【気をつけたいこと】

・無理に口へ流し込むと誤嚥(ごえん)の危険があります。お子さんの上体を起こし、落ち着いている時に少しずつ飲ませましょう。

・ミルクや食事全体に混ぜると、飲み残しや食べ残した時に必要な量が飲めなくなることがあります。

・薬を吐き戻した場合は自己判断で追加せず、医師や薬剤師に相談しま

薬の種類によって飲ませ方や注意点は異なります。困ったり、迷った時は医師や薬剤師に相談しながら、お子さんに合った方法を見つけていきましょうね。